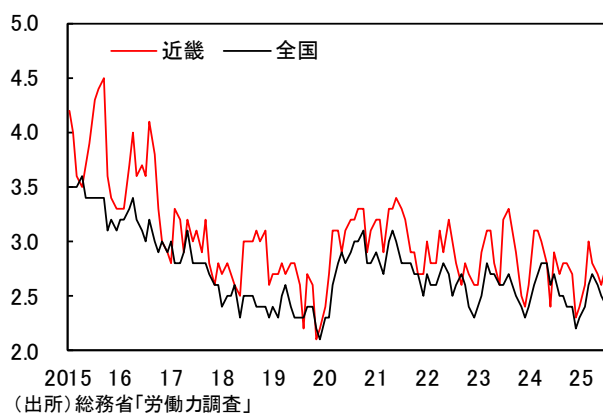


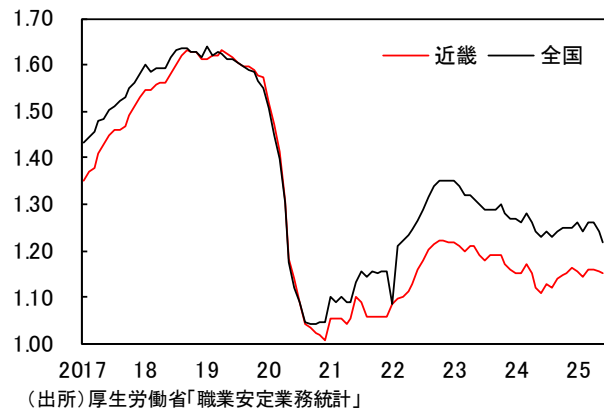
関西の景気ピックアップ【雇用関連（25 年 7 月）】

- 25 年 7 月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は 2.8%（原数値）と、前年比で 0.1 ポイントの低下となった。前年比での低下は 2 か月ぶり。変化の内訳は、就業者数が前年比で 16 万人の増加となり、失業者は 1 万人の減少、非労働力人口も 19 万人の減少となっている。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、25 年 7 月は 1.15 倍（季節調整値）と前月比で横ばいとなった。ここ半年程度の動きをみる限り、求人倍率の動きに大きな方向感を感じられない。
- 近畿の就業者数の推移をみると中長期的な増加の動きが進んでいる。すでにコロナ前の水準を上回り、直近では 1100 万人に近い水準にまで増えている。一方、失業者数は低水準での推移が続き、直近はコロナ前の最低水準である 30 万人前後での推移となっている。
- 企業の人手不足は深刻化しているが、失業者の少なさは求職者数の増加余地のなさを示すだけに、先行きには楽観できない。

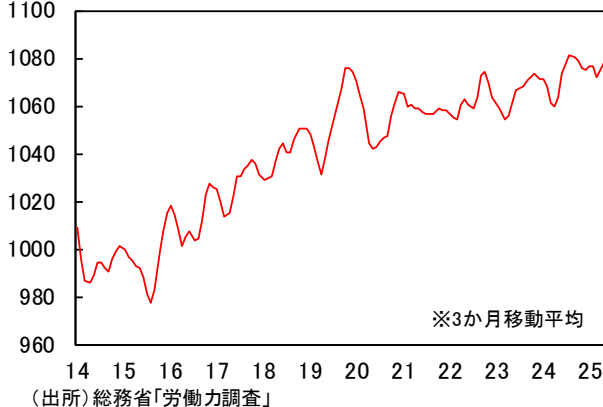
(%) 完全失業率の推移(原数値)



(倍) 有効求人倍率の推移(季節調整値)



(万人) 近畿の就業者数(原数値)



(万人) 近畿の失業者数(原数値)

